

平成27年8月19日

## 第16回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第16回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」について議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から「これまでの経過と研究会報告書のフォローアップ」について整理した内容が報告されました。
- 次に、資源エネルギー庁の高橋次長から、先月決定されたばかりの「長期エネルギー需給見通し」を踏まえた「エネルギー政策」について御講演をいただきました。  
講演では、エネルギー問題に関する議論、あるいは地域としてエネルギー政策に取り組む際に最も重要となる、①我が国のエネルギー需給構造が抱える課題や、②今後のエネルギー政策の方向性などの情報を御教示いただきました。  
研究会における議論の土台となる貴重な情報を御提供いただけたと、高橋次長には感謝しております。
- 次に、糸島市の宗課長から、独自に策定した「再生可能エネルギー導入計画」に基づき、産学官が連携して、地域の特性を活かした多様な再生可能エネルギーの導入を進めている事例などについて紹介いただきました。
- 次に、谷口委員代理（九州経済連合会）から、「九州の再生可能エネルギー産業化アクションプランの策定について」と題し、アクションプランの策定経緯や推進に向けた取組みについて情報提供をいただきました。
- 最後に、これらの講演・情報提供を基に、①既に達成している「再生可能エネルギー導入容量」をどの程度、見込むことができるか、②①を踏まえ、地方の取組みについて、今後、どのような施策に注力すべきかなどについて、委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」の方向性が明確になりましたので、県においては、研究会報告書の提言を踏まえた今後の取組みに活かしていただきたいと思いますと考えております。